

◎色彩の決定に関する法令等

【東京都福祉のまちづくり条例】

- ・視覚障がい者誘導用ブロックは黄色を原則とする。

【道路移動等円滑化基準（同ガイドライン）】

- ・視覚障がい者誘導用ブロックと周辺の舗装の輝度比（※１）を2.0程度確保する。

（※１）輝度比

輝度・・・ものから反射する光の量を数値化したもの

輝度比・・・ここでは $\frac{\text{視覚障がい者誘導用ブロックの輝度}}{\text{舗装の輝度}}$ の数値

輝度比の例



輝度比2.8

一般的なアスファルト舗装と点字ブロック



輝度比1.3

同系色のインターロッキングブロック

◎インターロッキングブロック選定基準

神田警察通りに使用予定のインターロッキングブロックは、下記を考慮し選定している。

- ・凹凸が発生しにくい
- ・滑りにくい
- ・汚れが目立ちにくい
- ・保水性がある（雨水を貯留し、晴天時に気化熱によりヒートアイランド現象を緩和する）
- ・点字ブロックの視認性が高い（輝度比）

◎神田警察通りのインターロッキングブロック

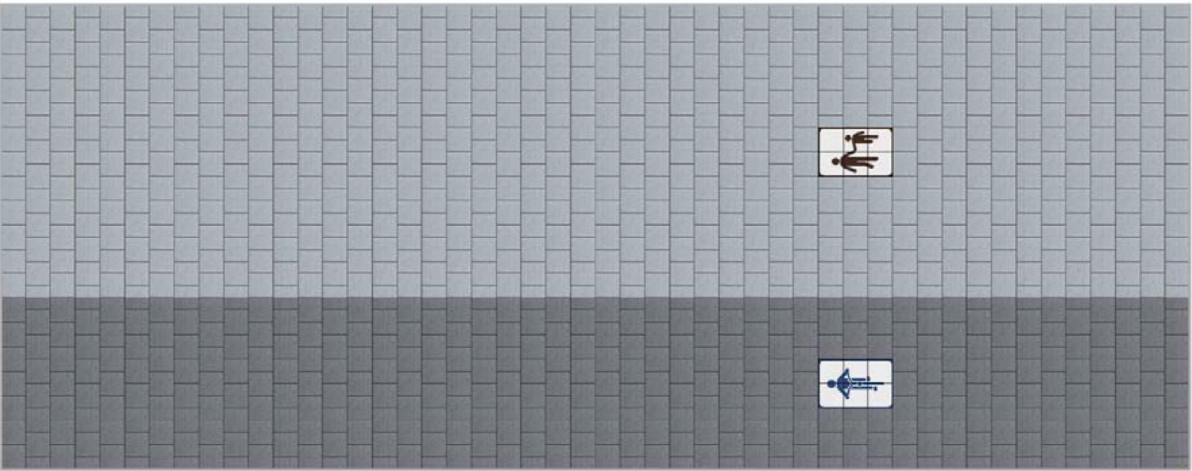
- ・基準を満たすインターロッキングブロックの色味 ⇒ グレー系、アイボリー系、オレンジ系
- ・各色を単色張りしたものとパターン張りしたもののイメージ案をA~C案で示す。

※自転車走行空間はダークグレー

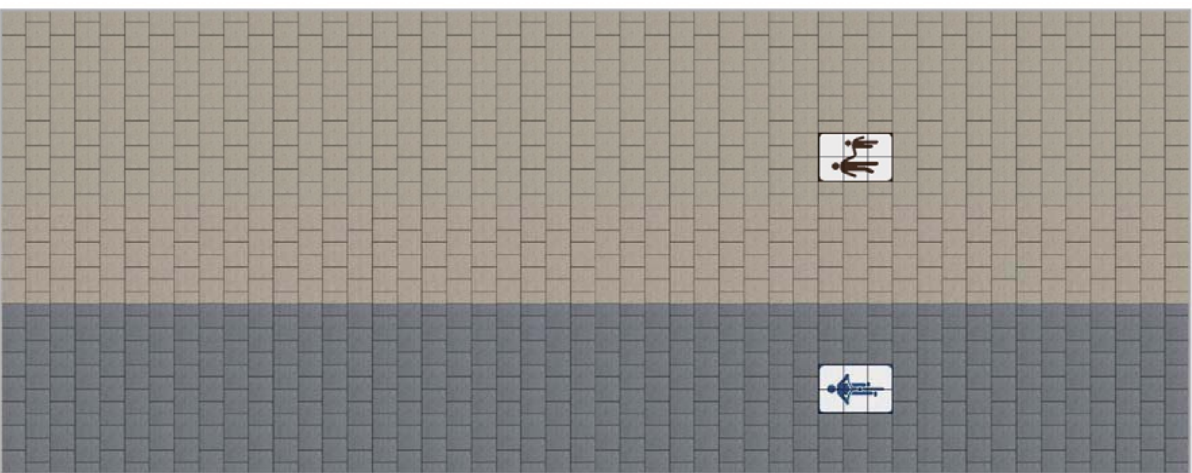
神田警察通り賑わいガイドラインに沿って、ゾーン毎に色分けして特色を出していく考え方、路線全体でインターロッキングブロックをそろえ、統一感を出す考え方がある。

□神田警察通り 舗装デザインプラン一覧

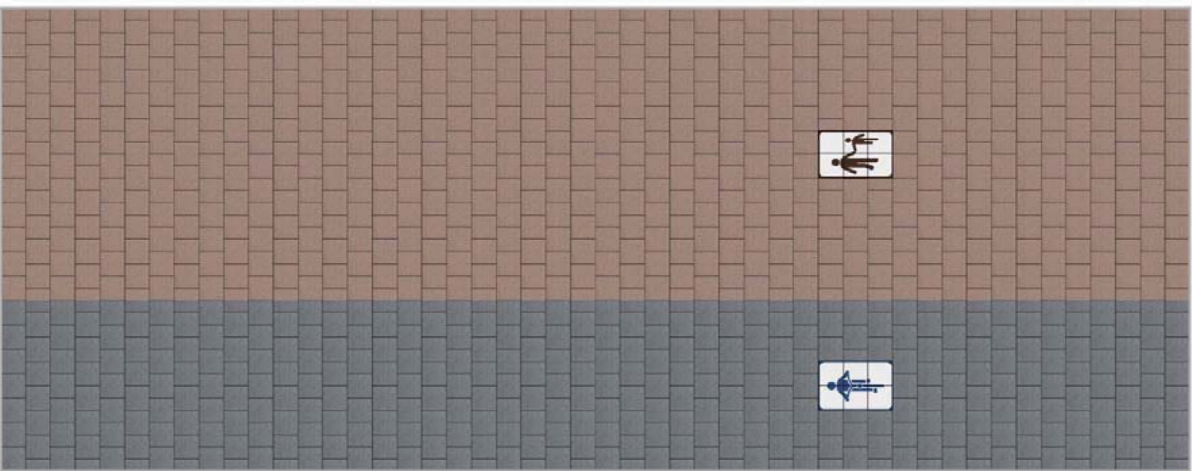
◆ 案 A-1



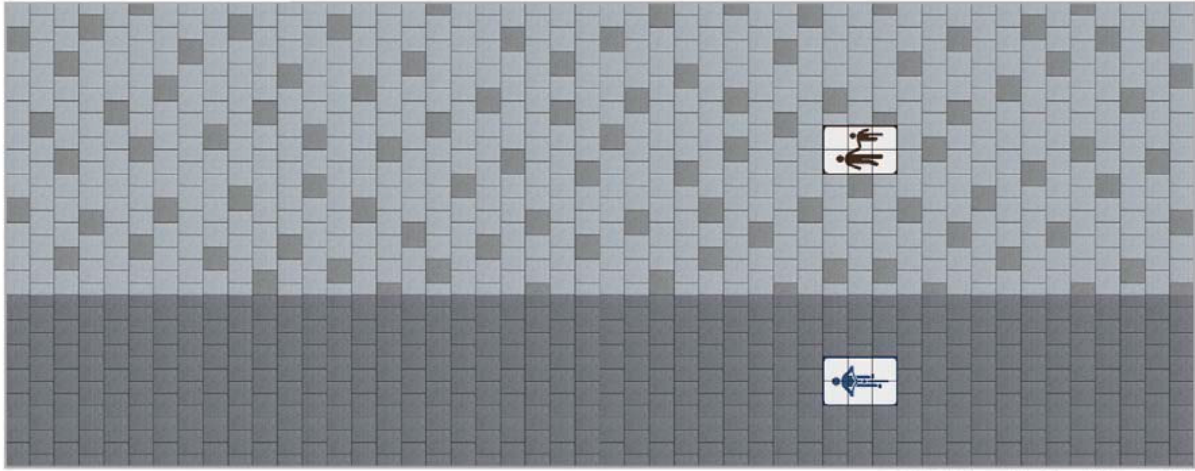
◆ 案 B-1



◆ 案 C-1

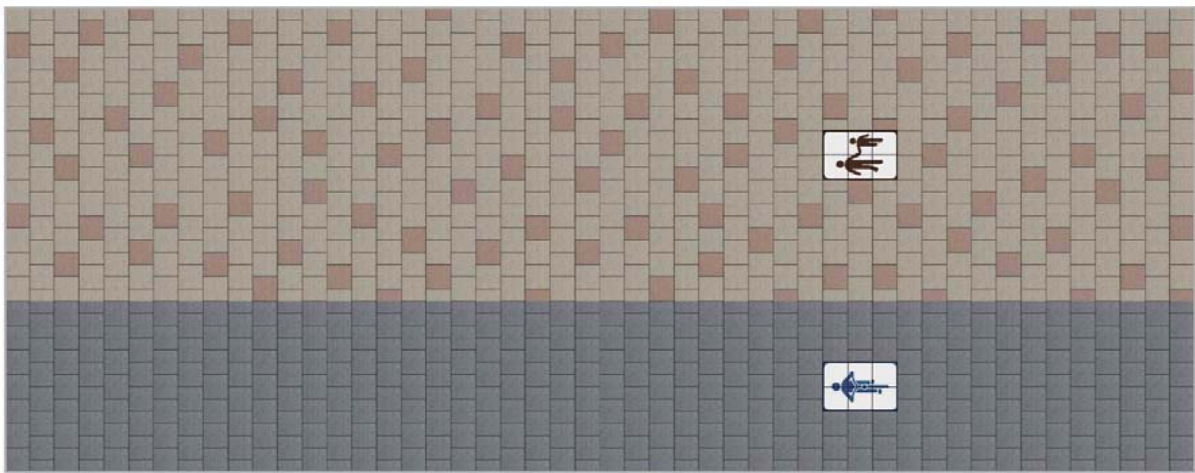


◆ 案 A-2



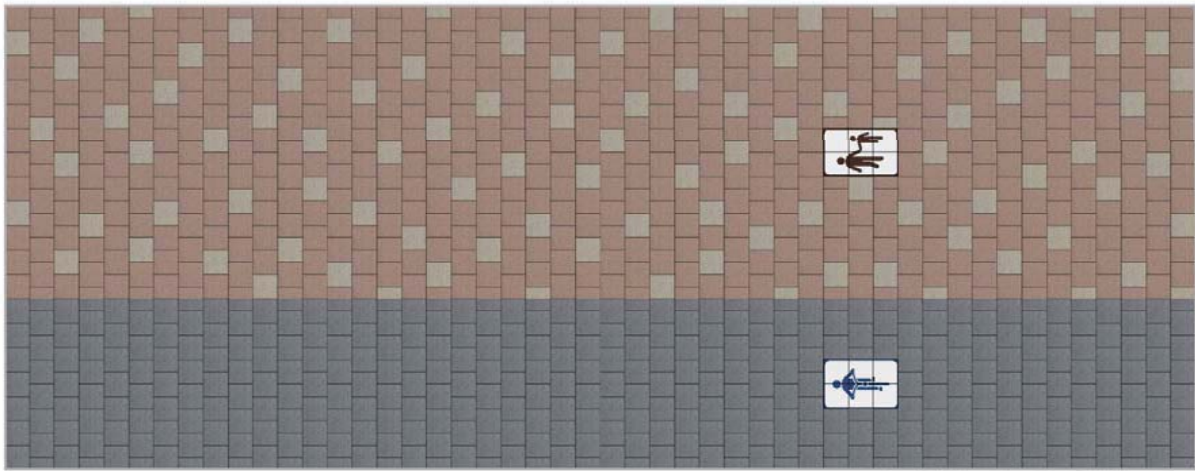
ランダム比率 ライトグレー：グレー＝5：1

◆ 案 B-2



ランダム比率 アイボリー：オレンジ＝5：1

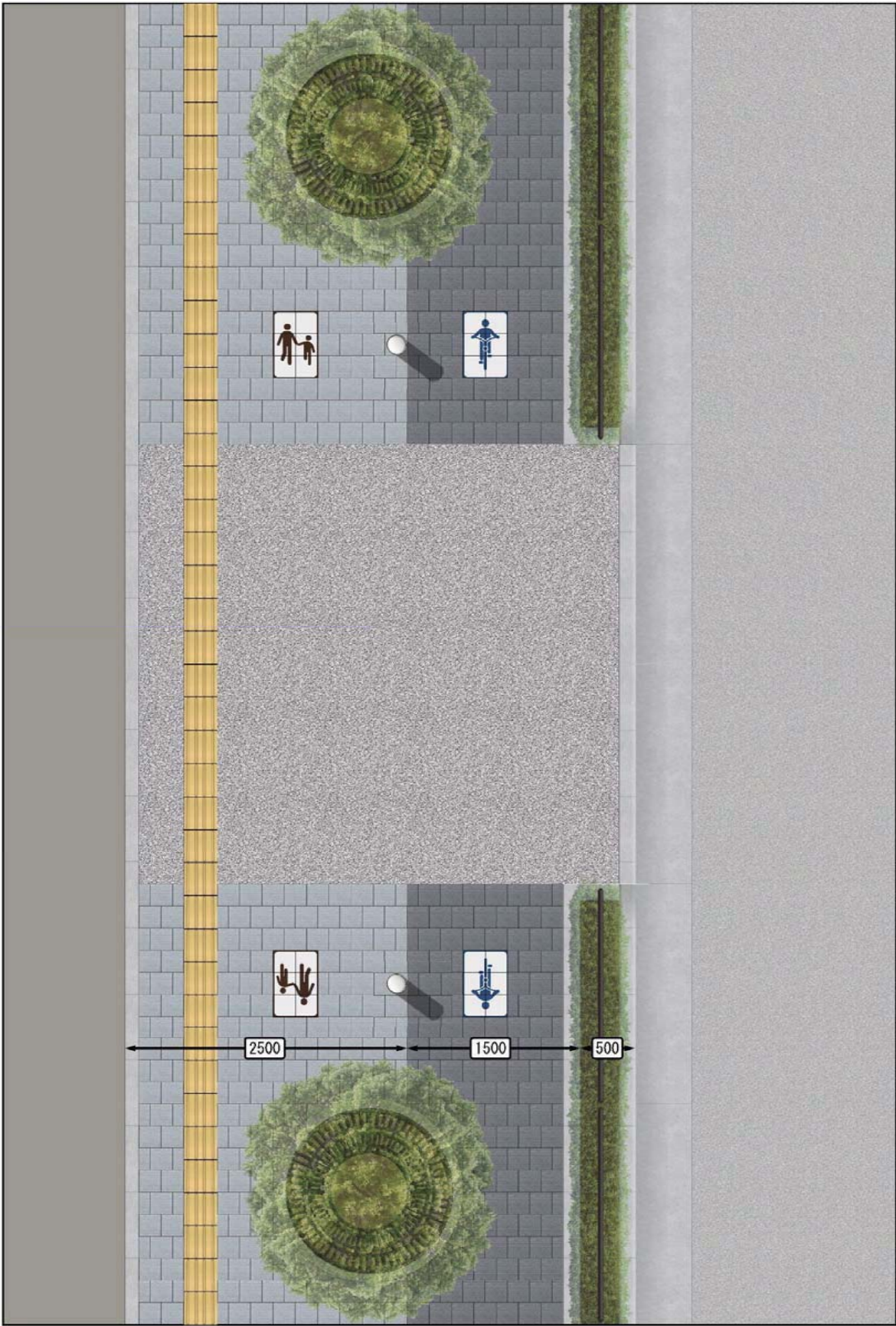
◆ 案 C-2



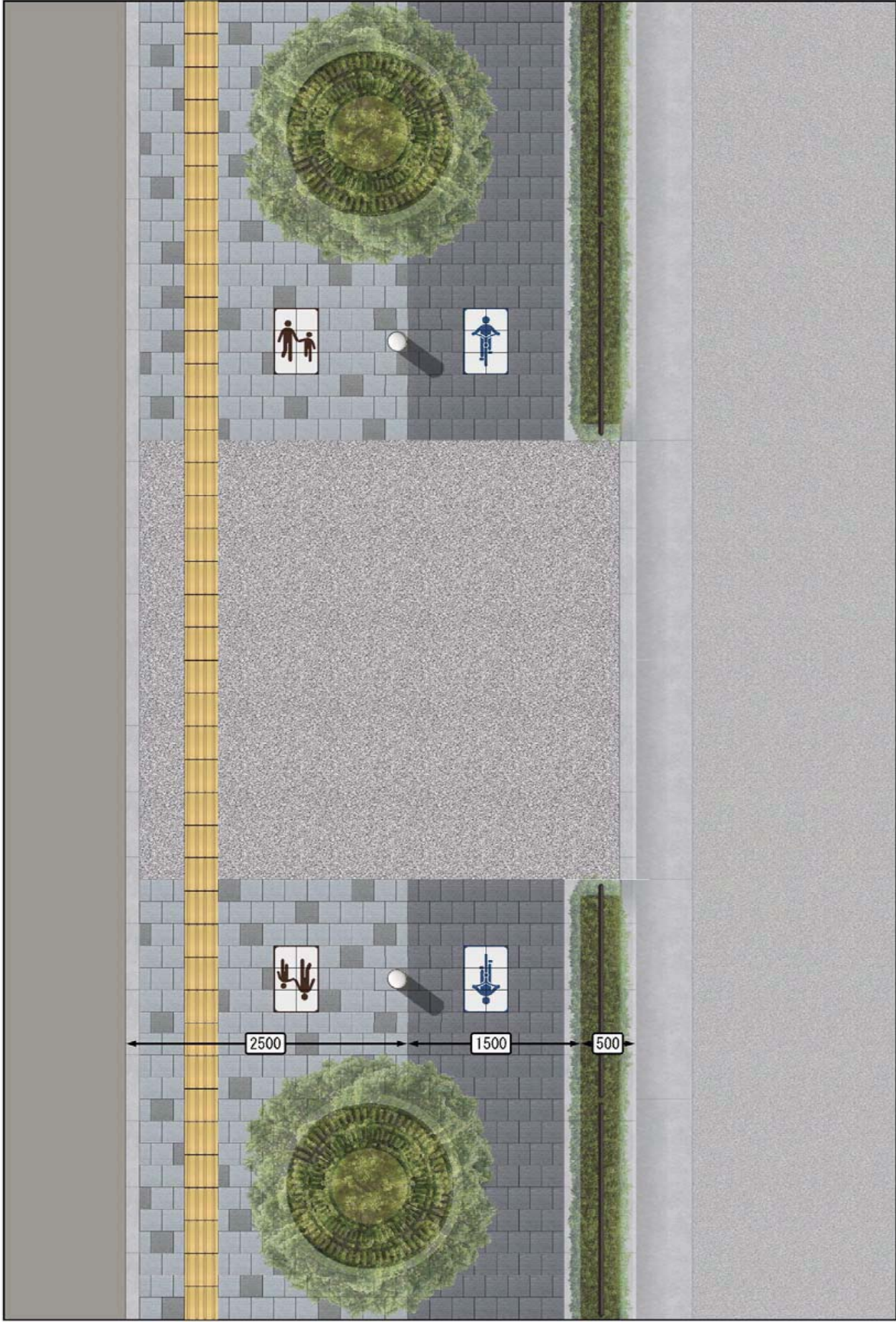
ランダム比率 オレンジ：アイボリー＝5：1

□整備比較平面図(案A)

◆ 案A-1

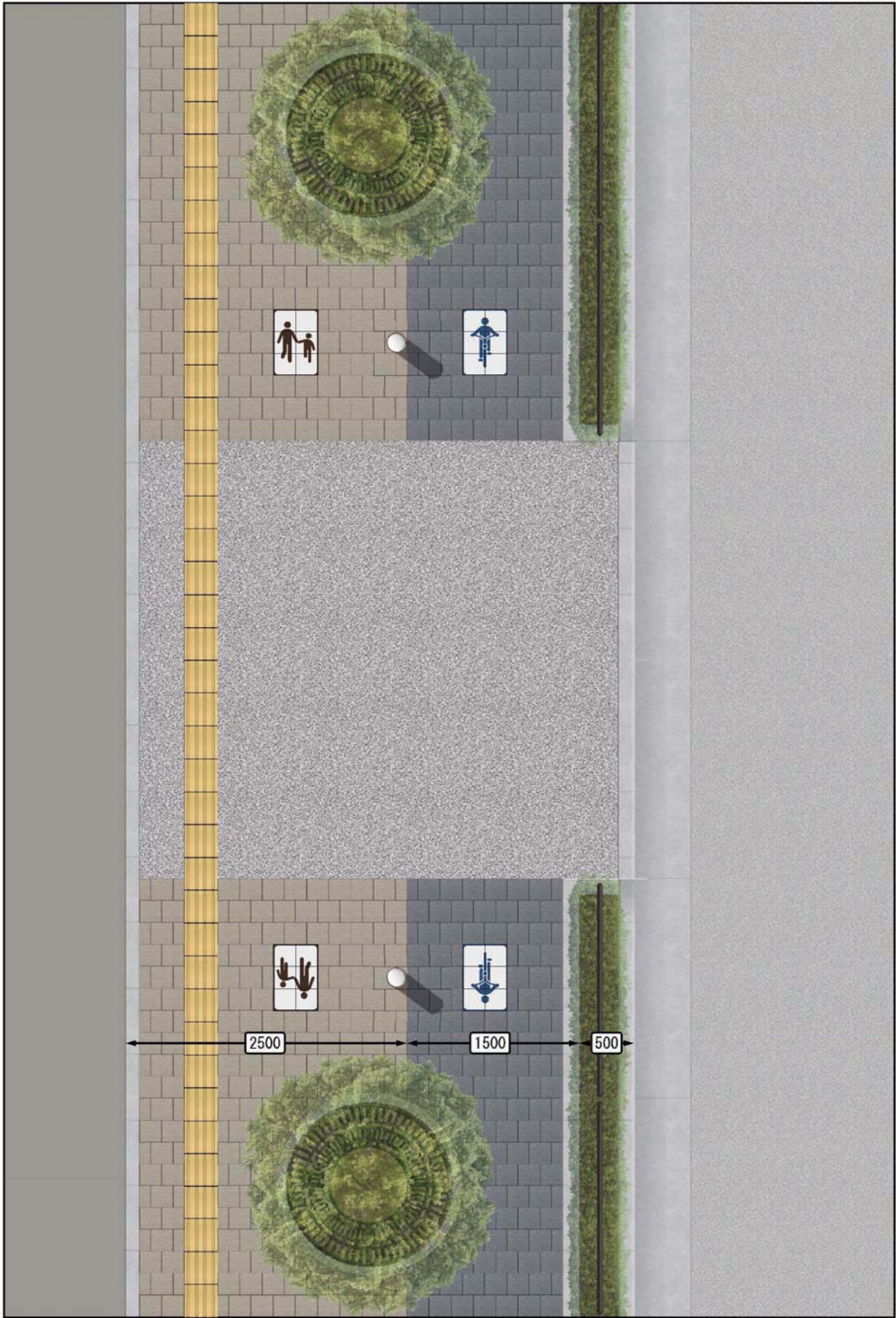


◆ 案A-2

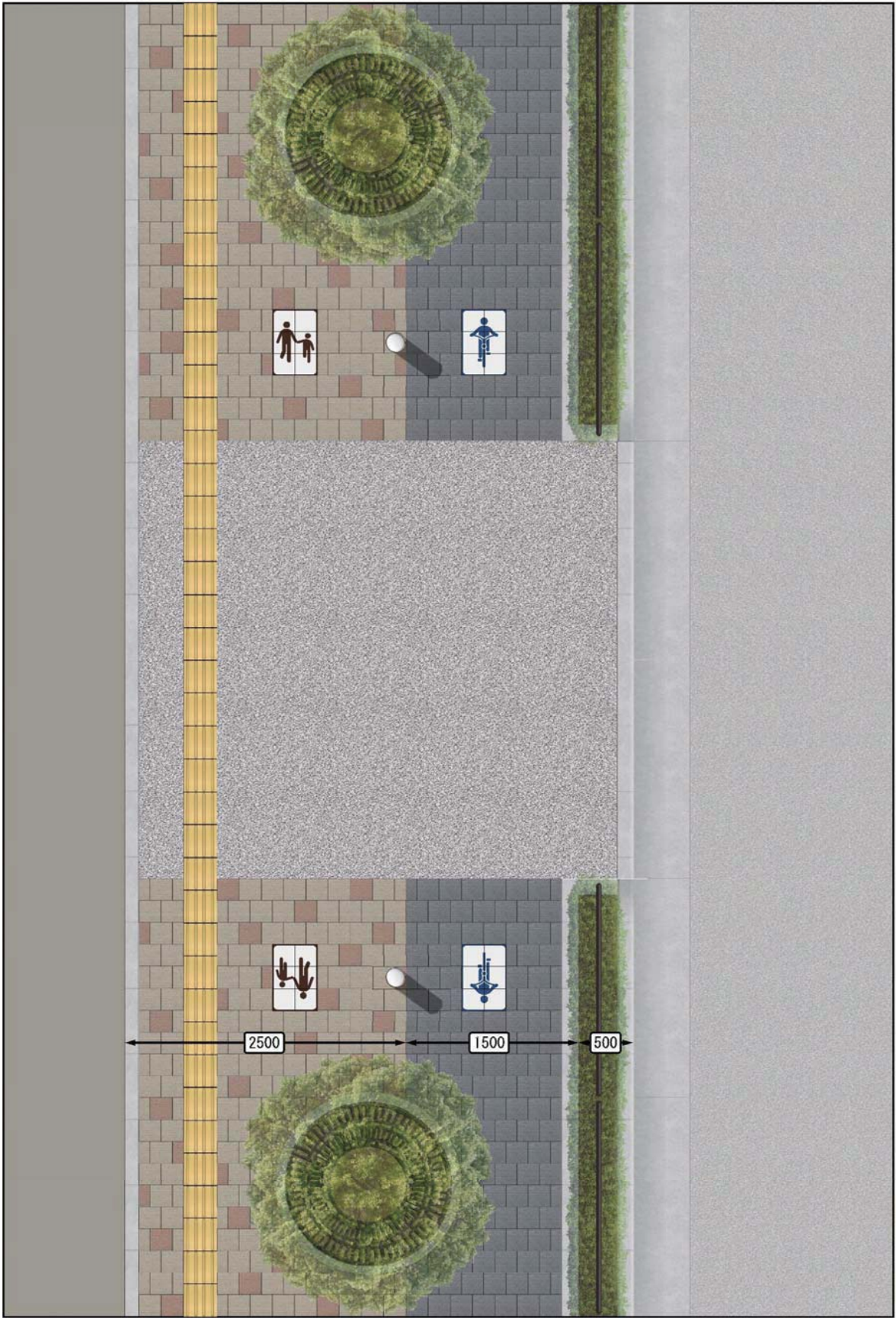


□整備比較平面図(案B)

◆ 案B-1



◆ 案B-2



□各ゾーンの特徴及び歩道舗装色の設定案



歴史・学術ゾーン

教育・学術施設や知的産業の集積やゆとりある敷地などによる落ち着きと風格を活かし、穏やかな賑わいを感じられるゾーン。

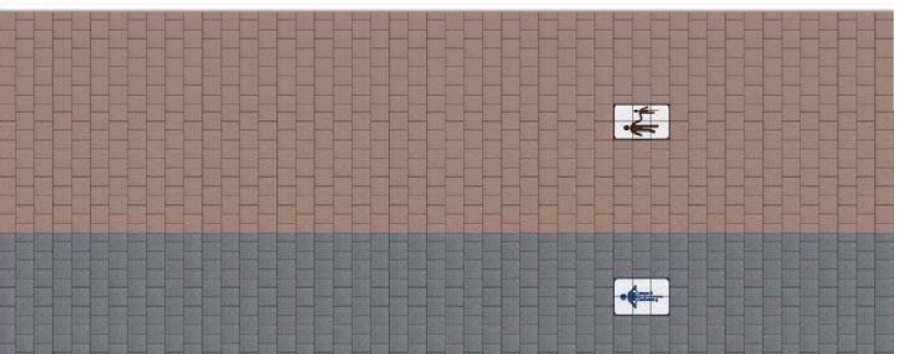
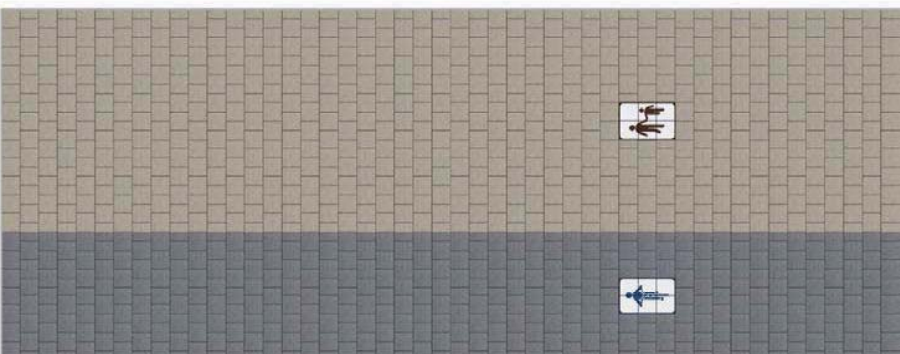
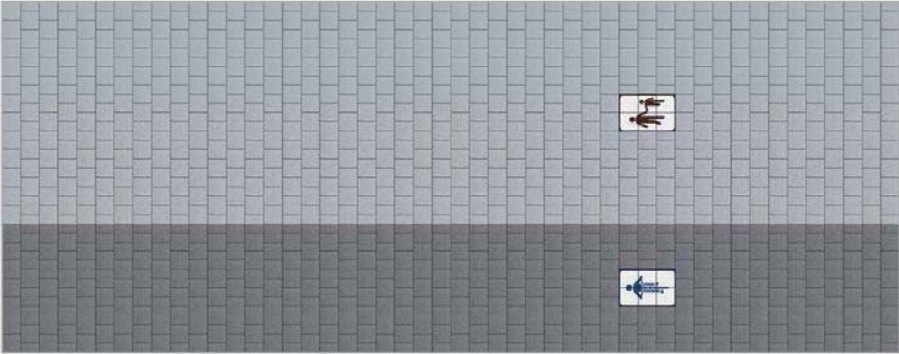
文化・交流ゾーン

お茶の水駅周辺で靖国通りと隣接した集客力のあるゾーン。来街者も楽しめるイベントを展開しつつ、多様な人が交流する。

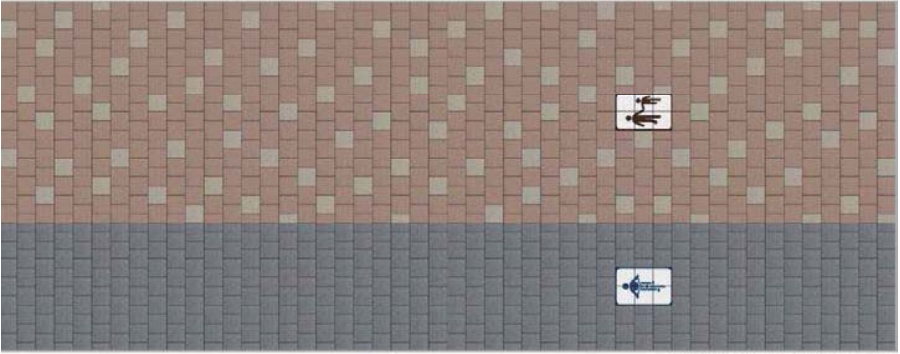
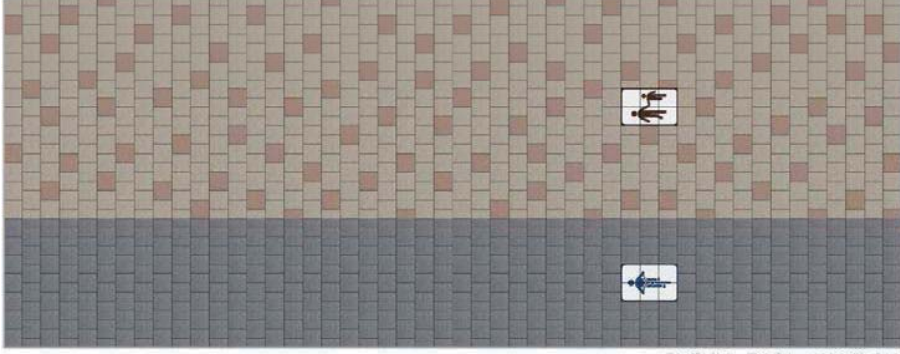
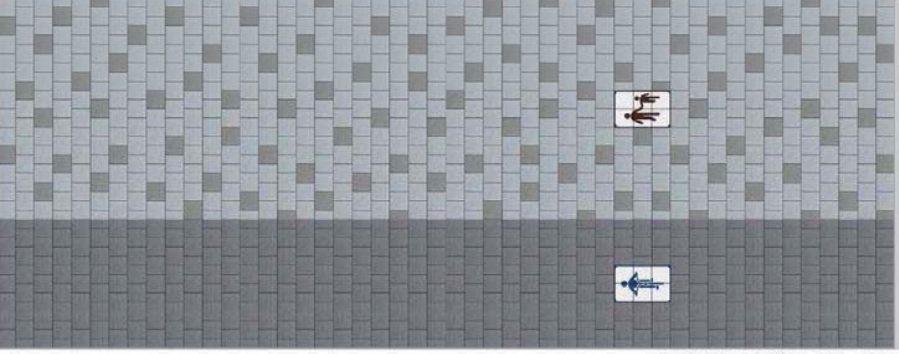
食・賑わいゾーン

飲食をはじめとした親しみやすい雰囲気のあるゾーン。路上への賑わいを創出し、神田駅周辺の賑わいを文化・交流ゾーンや秋葉原方面へと成長させる。

<パターン1>



<パターン2>



ランダム比率 ライトグレー：ダークグレー＝5：1

ランダム比率 アイボリー：オレンジ＝5：1

ランダム比率 オレンジ：アイボリー＝5：1